

受験上の注意

1. 試験日時・試験場

(1) 試験日時……令和6年6月15日(土)

| 学域 | 学類 | 選抜 | 試験時間割 | 集合時刻 |
|------|------------------|--------------|--|-------|
| 融合学域 | 先導学類 観光デザイン学類 | 一般選抜 | 小論文 10時00分～11時00分 口述試験 12時30分～ | 9時30分 |
| | | 外国人留学生 選抜 | 小論文 10時00分～11時00分 口述試験 12時30分～ | 9時30分 |
| | スマート創成科学類 | 社会人選抜 | 小論文 10時00分～11時00分 口述試験 12時30分～(プレゼンテーションを含む。) | 9時30分 |

(2) 試験場……金沢市角間町 金沢大学自然科学大講義棟 及び 自然科学本館(別紙「試験場案内図」を確認。)

(3) 下見……令和6年6月14日(金) 13時00分～17時00分

試験場入口(自然科学本館正面玄関)に試験室案内等を掲示します。

試験場建物内へ入ることはできません。

(4) 開場時刻……試験場: 8時30分開場(試験室も同じ)

2. 受験票

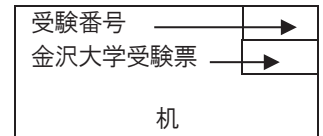
(1) 試験当日は、A4サイズで印刷した「金沢大学受験票」を必ず持参してください。

(2) 試験中は「金沢大学受験票」を二つ折りにして、監督者が受験番号、氏名等を見えるように机の上に置いてください。

(注) ① 試験当日、「金沢大学受験票」を持参しなかった場合は、試験場入口の掲示で確認して、試験場本部に行き、係員の指示を受けてください。

② 「金沢大学受験票」は、入学手続に必要なため大切に保管してください。

受験票の置き方



3. 受験に際しての注意事項

(1) 受験者は、試験開始30分前までにかばん等を持ったまま試験室に入室し、「金沢大学受験票」と同一の受験番号の席に着いてください。また、口述試験は、試験開始15分前までにかばん等を持ったまま口述試験控室に入室し、「金沢大学受験票」と同一の受験番号の席に着いてください。

(2) 所持品は、集合時刻後に監督者の指示に従って、所持品置場等に置いてください。

(3) 試験開始後20分を経過した遅刻者は、受験できません。

(4) 試験に際し、不正行為(試験の公平性や円滑な実施を損なう恐れがある行為等)があると本学が判断した場合は、失格とします。不正行為が発覚すれば警察に被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。不正行為については「金沢大学入学者選抜試験での不正行為の注意」を確認してください。

(5) 選抜試験当日(令和6年6月15日(土))にTOEIC L&R 又は TOEFL-iBT(Home Editionを含む)のスコアを必ず持参してください。持参しなかった場合は失格となりますので、十分注意してください。小論文の試験開始前に回収し、口述試験の際に返却します。

スコアの郵送が間に合わず、試験当日にオリジナルのスコアを提示できない場合は、インターネット上のスコア確認画面等から印刷したスコアの提出を認めます。ただし、その場合は入学手続期間の最終日までにオリジナルのスコアを融合系事務部学生課入試係に持参するか、切手を貼った返信用封筒を添えて郵送してください。スコアを提出しない場合または提出書類に不正があった場合は合格を取り消します。提出された印刷したスコアは返却しません。オリジナルのスコアは、確認後に返却します。

4. 試験時間中の注意事項

(1) 試験時間中は、退室を認めません。試験時間中の発病又はトイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室等での受験は認めません。また、一時退室した分の解答開始時刻の繰り下げや試験時間の延長も認めません。

(2) 所持品の取扱いは、以下を厳守しなければなりません。

- ① 試験時間中、受験票のほかに机の上に置けるものは、「黒鉛筆(和歌、格言等が印刷されているものは不可)」、「鉛筆キャップ」、「シャープペンシル(黒い芯に限る。シャープペンシルの芯ケースは不可)」、「消しゴム(電動式は不可)」、「鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ類は不可)」、「直定規」、「時計(辞書や電卓、通信等の機能のあるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可)」、「眼鏡」、「ハンカチ(無地に限る)」、「目薬」、「ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)」です。これら以外の所持品を置いてはいけません。

(次ページに続く)

〈前ページから続く〉

なお、「三角定規」、「分度器」、「分度器付き定規」、「コンパス」、「電卓」、「そろばん」、「グラフ用紙」等の補助具や、「携帯電話」、「スマートフォン」、「ウェアラブル端末（腕時計型、イヤホン型、リストバンド型等すべて含む）」、「タブレット端末」、「電子辞書」、「ICレコーダー」、「イヤホン」、「音楽プレーヤー」等の電子機器類の使用は認めません。

② アラーム機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。

③ 試験室内では**電子機器類の使用を認めません。**

携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末等の電子機器は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っただけでかばん等に入れておいてください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴るので十分注意してください。

なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を所持品置場から持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。

④ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがあるので使用を認めません。

⑤ 試験室内ではコート類を着用しても差し支えありません。**漢字や英文字、地図等がプリントされている服等は着用を認めません。着用している場合には、脱衣を指示することがあります。**

⑥ 「座布団」、「ひざ掛け」の使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を得てください。

(3) マスク着用の方は、本人確認のため、マスクを一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

(4) 答案用紙を持ち帰ってはいけません。問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。

(5) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音等、周囲の者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。

5. 「口述試験」の注意事項

(1) 口述試験控室内では携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類の使用を認めません。控室に入る前に必ずアラーム設定を解除し、電源を切っただけでかばん等に入れてください。

(2) 口述試験控室内では、読書等により静粛にしてください。

(3) 試験に際し、受験番号を呼ばれたら、受験票及びすべての所持品を持って口述試験室に移動してください。

(4) **社会人選抜**

・プレゼンテーションでは、課題について5分程度の口頭発表を求めます。なお、PC機器や資料を用いずに**口頭のみでの実施**とします。PC機器や資料の持ち込みは認めません。

・プレゼンテーションの課題は、次のとおりです。

観光デザイン学類 「あなたが観光デザイン学類に入学した後に取り組みたい活動について、文理医融合的アイデアを含めて説明してください。」

(5) 口述試験では、アドミッション・ポリシーを踏まえた質疑応答を個人単位で行います。

(6) 口述試験終了後、口述試験控室には再入室できません。速やかに帰宅してください。

(7) 各受験者の評価の公平性及び客観性を確保するため、口述試験の様子を録画します。録画記録は本入学者選抜における評価の目的にのみ使用します。

6. その他の注意事項

(1) 入学試験の詳細は、志願者本人の責任で本選抜の学生募集要項を確認してください。

(2) 試験中はもちろん試験時間外といえども、静粛にしてください。

(3) 昼食は各自用意し、筆記試験室の自席でとってください。

(4) キャンパス内は禁煙です。

(5) 交通渋滞が発生する場合もあるので、早めに試験場に到着するよう注意してください。また、試験場へは、公共交通機関を利用し、乗用車で乗り入れを自粛してください。

(6) 不測の事態により試験時間等を変更する場合は、金沢大学融合学域Webサイトに随時情報を掲載するので、受験直前は特に注意してください。

【金沢大学融合学域Webサイト】

金沢大学融合学域トップページ NEWS <https://innov.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

(7) 入学試験に関する問合せ及び連絡先は、次のとおりです。

〒920-1192 金沢市角間町

【入試当日以外】 金沢大学融合系事務部学生課入試係 TEL 076-264-5910 (平日9時00分～17時00分)

【入試当日のみ】 金沢大学融合学域試験場本部 TEL 076-234-4934 (8時30分～17時00分)



金沢大学入学者選抜試験での不正行為の注意

令和4年7月21日

1. 本学入学者選抜試験において、次の行為は不正行為とし、受験者は入学試験において失格とします。

- (1) 他人に自分の身代わりとして試験を受けさせること、及び自分が他人の身代わりとして試験を受けること。
- (2) 出願確認票、答案用紙へ故意に虚偽の入力や記入をすること。
- (3) 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開くこと、及び解答を始めること。
- (4) カンニングをすること（カンニングペーパーを持ち込むこと、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること、答案を交換することなど）、カンニングの手助けをすること、及び他の受験者に答えを教えること。
- (5) 試験時間中に、配付した問題冊子、下書き用紙及び答案用紙を試験室から持ち出すこと。
- (6) 試験時間中に、「各入学者選抜試験の受験上の注意」において、許可されていないものを使用すること。
- (7) 試験時間中、及び口述試験開始前の口述試験控室等において、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン及び音楽プレーヤー等の電子機器類の電源を切ってかばん等にしまわず、使用すること、及び身に付けること。なお、イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。
- (8) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを置かずに解答を続けること。
- (9) 口述試験において、試験前に試験が終了した他の受験者から試験に関する情報を得ること、及び試験後にこれから試験を受ける他の受験者へ試験に関する情報を与えること。

2. 上記1以外にも次のことを不正行為とみなすことがあります。指示等に従わず、不正行為と認定した場合にも、1の場合と同様に受験者は入学者選抜試験において、失格とします。

- (1) 上記1(7)のほか、アラームの設定を解除せず試験時間中に音（着信音、アラーム、振動音など）を鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
- (2) 試験場において、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出や隠ぺいを行うこと、及び他の受験者への迷惑又は本学の円滑な試験実施の支障となる恐れのある行為をすること。
- (3) 試験場において、試験監督者及び本学教職員等の指示に従わないこと。
- (4) その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

3. 不正行為が発覚すれば、警察に被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

試験場案内図 金沢大学融合学域3年次編入学試験場



金沢大学 融合学域3年次編入学試験場
 自然科学大講義棟及び自然科学本館
 (試験場入口は自然科学本館正面玄関です。)

バス停：金沢大学自然研前

【注意】
 キャンパス内に付添者等の待機場所はありません。

【融合学域3年次編入学試験場までの交通機関】
 JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから
 北陸鉄道バス 8番乗り場発
 乗車：93, 94, 97「金沢大学」行き
 下車：「金沢大学自然研前」
 (自然科学本館まで徒歩すぐ)
 [JR金沢駅から約35分]



北地区

- N1 大学会館(食堂・売店・郵便局)
- N2 中央図書館・資料館
- N3 総合教育1号館
[国際学類、国際基幹教育院、国際日本研究センター]
- N4 総合教育講義棟
- N5 総合教育2号館
[国際基幹教育院、人間社会環境研究科]
- N6 人間社会1号館
[人文学類、地域創造学類、国際学類、人間社会環境研究科]
- N7 人間社会第1講義棟
- N8 人間社会2号館
[法学類、経済学類、人間社会環境研究科]

中地区

- N9 北福利施設(食堂)
- N10 人間社会3号館
[学校教育学類、地域創造学類、教職実践研究科、法学研究科]
- N11 人間社会第2講義棟
- N12 人間社会4号館
[学校教育学類、地域創造学類、教職実践研究科]
- N13 人間社会5号館
[学校教育学類、地域創造学類、教職実践研究科]、
古代文明・文化資源学研究所
- N14 工作実習棟
- N15 教職総合支援センター
- N16 プール
- N17 資料館分館
- N18 北課外活動共用施設
[学校教育学類、地域創造学類、教職実践研究科]
- N19 屋内運動場(体育館)
- N20 エネルギーセンター

南地区

- S1 自然科学本館
- S2 自然科学系図書館・南福利施設(食堂・売店)
- S3 自然科学1号館
[理工学域、薬学類、医薬科学類]、
ナノマテリアル研究所
- S4 自然科学2号館
[融合学域、理工学域]、
高度モビリティ研究所
- S5 自然科学3号館
[理工学域]

中地区

- C1 本部棟、健康管理センター、
先端科学・社会共創推進機構
- C2 学術メディア創成センター
- C3 中福利施設
- C4 自然科学5号館 [理工学域]
- C5 インキュベーション施設
- C7 極低温研究室
- C8 疾患モデル総合研究センター
アイソトープ理工系研究施設
- C9 かくまちプラザ
- C10 角間ゲストハウス、
ELPセンター
- C11 国際交流会館

